

自然観察サークルの2月定例会は甘樫丘で**苔の観察会**をしました。寒い日だったのですが、もう光は春めいていてアmanaやジロボウエンゴサクの葉が展開し、いつ花芽が出てきてもおかしくない大きさになっていました。下の写真はコツボゴケの写真です。透明感のある美しい緑の苔です。



甘樫丘には木の陰や草の中、園路の脇、山の北側の日陰には様々な苔がありました。サークル員はルーペを使って苔の観察をしました。

コケ庭の苔や林床に生えている苔の美しさに心を奪われる人が多いと思うのですが、この苔をじっくり観察することはあまりないと思います。今回は足元のよく知っている苔ですが、よく観察したことのない苔に光を当ててみました。

早春の2月、苔はこれから春に向かってだんだん美しくなっていきます。この苔は、保水力抜群で自分の重さの20倍の水を吸うとされているそうです。ミズゴケなんかはその最たるものでしょうか。また、何かの工事をした後の裸地に素早く侵入して地面を覆うのは苔。地表を覆うことで土が流れるのを防いでいると言われています。



甘樫丘の玄関に集合して準備運動後観察に出発しました。

春の兆しも観察しながら園路を回っていききました。ニワトコのプロックリーのような花芽、タンポポやホトケノザの花、ジロボウエンゴサクの芽吹きを観察しながら、苔の観察ポイントを何か所か決めその場所を中心に観察しました。



ニワトコの花芽



ミツマタの花



ジロボウエンゴサクの葉



少し寒い日でしたが徐々に天気も回復し気持ちよく園路を回って観察しました。

観察ポイントで観察した苔。



シノブゴケ(半日陰～日陰)



ハリガネゴケ(裸地によく生える)



ギンゴケ(ホソウリゴケと一緒に)



アラハシラガゴケ(半日陰～日陰)



スギゴケの仲間(いろいろな種類のスギゴケがある。半日陰～日陰))



ジャゴケとハイゴケ、スギゴケ(半日陰)



ホソウリゴケ(道端や擁壁に)



コツボゴケ(半日陰)



タマゴケ(まあるい孢子体が出ていた)



ホソバオキナゴケ(半日陰～日陰)



スナゴケ(半日陰～日向) ジンガサゴケ(早春、若い雌器托^{しきたく}を出している。スギゴケやハイゴケも)



コツボゴケとハイゴケ



ハイゴケ



ヒョウタンゴケ(裸地で)

公園の中でも整地を進めている工事後の裸地にはハリガネゴケやヒョウタンゴケが見られました。園路わきの草地の中にはハイゴケやコツボゴケがコロニーを作っていました。草地がちょっと途切れた斜面にはタマゴケがまあい胞子体をつけていました。日陰で湿潤な観察地点では、ゼニゴケ・ジャゴケやジンガサゴケ・ハイゴケ・コツボゴケ・スギゴケなど様々な苔が観察できました。

いつもは苔が生えているなあくらいで見過ごすところを、今日はルーペで苔の小さな小さな世界を観察しました。(写真は1倍から8倍)

甘樫丘はまだまだ多様性のある環境が残っているなあと思いました。

昼食後は「コケを育ててみよう」ということで、別に用意した苔を使い簡単な苔テラリウムを作り楽しみました。

有意義な一日でした。